

分科会名	第1A分科会 研究課題「教育課程に関する課題」
研究主題	ふるさと唐津を愛し、心豊かに、たくましく生きる児童生徒の育成 ～地域の人材や教材を円滑に活用するための副校長・教頭の役割～
提言者	所属：唐津地区教頭会 学校名：唐津市立鏡山小学校 氏名：渡辺 謙
紙 面 協 議 の ま と め	<p>令和2年12月4日(金)に第1回唐津地区教頭会研修会を開催し、鏡山小学校の渡辺教頭先生より県教頭会研究大会で発表予定であった内容を発表していただく機会を設けた。</p> <p>【発表内容についての所感】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材を発掘することは、学校にとって大きな労力である。そのため「唐津地区地域人材バンク」のような情報共有のためのコンテンツがあればありがたい。</li> <li>・昨年度、中部の教頭先生方で「唐津地区地域人材バンク」の作成を進められていることは承知していたが、他人事で済ませていたことを今更ながら申し訳なく思っている。今後自分の学校も情報の提供をするとともに、活用をさせていただきたい。</li> <li>・地域との連携は、行事や取り組みだけでなく、コミュニティースクールや校舎改築など運営面での連携も重要である。今後、コミュニティースクールが推進され唐津地区でも増加すると考えられ、現在推進している研究を来年以降もさらに推進していきたい。</li> <li>・本校にも多くの地域とつながる行事や取り組みが年間を通じて多くある。しかし、今年はコロナ禍で地域人材を生かした取り組みが全くできなかった。これまで積み上げてきた地域の方とのつながりが1年を空けて再開できるのかやや心配している。</li> <li>・「社会に開かれた教育課程」の実現が求められる今、地域との一番の窓口となる教頭の役割の重要性を改めて知ることができた。</li> <li>・新任教頭として赴任し、唐津地区のことについては全く不案内であり研究については尚更である。今回、唐津地区の教頭先生方と初の顔合わせができたこと、研究の内容を具体的に知ることができたことは良い機会となった。</li> </ul> <p>【地区内でのローテーションの見直し】</p> <p>唐津地区では、中部・東部・西部の3地区のローテーションで研究が進められている。そのため、研究年次が常に変わらないという弊害がこれまで指摘されていた。今回のコロナ禍の影響で十分な研究が進められなかったため、今年度研究を進める予定であった東部地区が来年度も引き続き中心になって研究を進めていくこととなった。</p>
研 究 部 長 よ り	<p>今年度、唐津地区教頭会研修会の開催もままならず、辛うじて12月に1度開催することができた。他地区からの赴任が比較的多い唐津地区の特に新任教頭先生方にとっては、やっと地区内の教頭(仲間)が一堂に会することができホッとされたことだろう。研究においては、地域人材を主題にした研究であっただけに今年度の研究は遅々として進まず、それどころか「…の延期について」「…の中止について」という文書(お知らせ)をいくつ出したことか…。来年度は、コロナ感染症の行方を見極めながら開催の新たな方策を練って今年度滞った地域人材を生かした取り組みの再開を進め、研究を推進していきたい。そして、会員が活用可能な「唐津地区地域人材バンク」の作成を実現したい。</p> <p>(唐津市立浜玉中学校 古賀 義彦)</p>